

学園都市 うえだビジョン



学生が集い、市民と響き合い

未来を描くまち 上田

令和8年3月
上田市

あいさつ（案）

「学生の賑わいと地域の魅力向上

選ばれる学園都市に」

上田市は、古くから歴史と文化に彩られたまちであり、自然豊かな環境とともに、人々の温かい絆が息づいています。また、上田市の塩田平は、学問と宗教の中心地として栄え、表紙のモチーフともなった「信州の学海」と呼ばれてきました。この歴史は、上田の地に脈々と受け継がれてきた“学びを重んじる文化”の象徴でもあります。その中で、私たちのまちには複数の大学や短期大学、専門学校が立地し、多くの学生が学んでいます。こうした学びの場を有することは、上田市の大きな強みであり、未来を切り拓く原動力です。

しかし、全国的な少子化の進行や若者の大都市集中という社会の流れの中で、学生数の減少は避けられない課題となっています。だからこそ、私たちはこの現実を受け入れながらも、上田市ならではの魅力を高め、学生に「選ばれるまち」を目指す必要があります。そのために策定したのが、この「学園都市うえだビジョン」です。

このビジョンには、地域連携、産学官連携、学生生活活動の応援、就職支援、生涯学習の推進という5つの柱があります。これらを進めるためには、行政だけでなく、市民、企業、学校、そして学生自身の協力が欠かせません。上田市は、皆さまでともに歩みながら、学園都市としての魅力を高めていきます。

さらに、学生が地域に愛着を持ち、市民と交流しながら成長し、その過程で地域も新しい価値を生み出し、活力を得る。こうした循環を生み出すことが、上田市の未来を豊かにする鍵だと考えています。

学生が夢を描き、市民が誇りを持ち、企業が挑戦し続け、そのすべてが交わる場所として、上田市の更なる発展に力を尽くしてまいります。

令和8年3月

上田市長 土屋陽一

1 策定の趣旨

上田市内には複数の大学・短期大学・専門学校など(以下「大学等」という。)が立地し、令和7年度(2025年度)現在で約4,500人の学生が学んでいますが、少子化の進行と若者の大都市集中傾向によって今後学生数の減少が課題となっています。こうした社会情勢のもと、上田市では、「学園都市上田」としての特徴を活かして、大学等と上田市が支えあいながら互いの発展を目指します。あわせて、学生が充実した学生生活を送り、学生と市民との相互の交流が生まれ、まちの賑わいと活力が創出され、学生から選ばれる上田市を目指して「学園都市うえだビジョン」を策定します。

2 計画期間

令和8年度から令和12年度までの5年間
(第三次上田市総合計画の前期まちづくり計画期間と同様)

3 推進体制

本ビジョンでは、学園都市づくりを大学等とともに市民、小中学校、高等学校、企業、地域、行政が連携し、若者の声を聴き、若者とともに取組を推進します。

なお、国や長野県の動向、学生数の推移など社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて内容の見直しを行います。

4 「学園都市うえだ」への思い

コンセプト

「学生の賑わいと地域の魅力向上

「選ばれる学園都市に」

大学等の行う高等教育の振興を通じて、大学等と地域が互いに交わり
支え合い、さらには、学生が集い、まちを学びの場又は交流の場としな
がら市民と親しく交流し、地域における活動等を通して、学生の地域へ
の愛着の醸成と地域の魅力向上や活性化を目指します。

キャッチフレーズ

「学生が集い、市民と響き合い、未来を描くまち 上田」

～ 学ぶ力×地域力＝上田の未来 ～

(キャッチフレーズに込める思い)

- 学生と市民が交流し、互いに刺激し合うことで、新しい価値や未来のビジョンが生まれ、まち全体が学びと創造の場となる。
- 学生生活を充実させ、地域で学ぶことを通じて、学生が上田市の魅力を発見し、将来のライフステージにおいて上田市が「働く」、「暮らす」、観光などで「訪れる」まちとなる。

5つの基本施策

基本施策1 地域連携支援

◆目指すべき姿

大学等と地域が課題と目標を共有し、ともに考え、解決に向けて主体的に取り組む関係性が築かれており、互いの発展に貢献している。
また、地域での学びを通して、学生が主体性や課題解決の実践力を身に付けるとともに、地域への理解を深め、愛着が育まれる。

施策の方向性

(1)大学等と地域とのつながりづくり

- 大学等を含む多様な主体が互いに連携しあうための共創の場づくりを進めることにより、大学等の専門性(知識)と地域資源を活用した教育を支援するとともに、学生の地域での学びを支援します。

(2)行政と大学等との共創の推進

- 行政では、大学等を「共創」の重要なパートナーであるという認識のもと、積極的に連携を図り、地域課題の解決につなげることで、大学等の存在により地域が発展していると実感できるまちづくりを推進していきます。

基本施策2 産学官連携支援

◆目指すべき姿

上田市の多様な産業と大学等が個々に連携する関係性を築き、互いのリソース、ノウハウを持ち寄ることでイノベーションを創出する。

施策の方向性

(1)大学等と市内企業との連携促進

- 大学等と市内企業との交流を通じて、共創のパートナーとしての関係性を築けるよう、連携の充実を図ります。

(2)産学官連携によるイノベーション創出の支援

- 大学等の知的財産、学術研究の成果が企業課題の解決に結びつき、社会への貢献につながるよう、共同研究・共同開発を支援します。

基本施策3 学生活動支援

◆目指すべき姿

学生が地域を舞台とした様々な活動を通じて、地域住民との交流を持つことで「社会貢献意識・自己肯定感」を向上させ、地域の一員としていきいきと暮らし、社会とのつながりを持ちながら自分らしいみちを歩める場所として上田市に魅力を感じている。

施策の方向性

(1)地域で活動する学生の支援

- 地域貢献の意欲を持つ学生が活動の場を広げるとともに、地域社会の一員として力を発揮できるよう支援します。

(2)学生と地域活動を結ぶ機会の創出

- ボランティア活動等に興味・関心のある学生が、活動しやすく、志をともにする仲間を見つけ、より発展した活動につながる機会を提供します。また、活動の様子を広く周知することで、「潜在的ボランティア層」の活動参加を促します。

(3)支援者間のマッチング支援

- 学生の参加を求める地域と学生とのマッチングが円滑に展開されるようコーディネートします。

(4)学生生活が充実する環境づくり

- 学生が地域社会において安心して生活ができ、地域が学生にとっての居場所と感じられる取組を推進します。

基本施策4 学生の就職支援

◆目指すべき姿

地域での学びや企業との交流を通じて、学生が自身のキャリア形成に有益な体験を得ることで、将来のライフステージとして上田市で働くこと、暮らすことに魅力を感じる。

施策の方向性

(1)地域資源を活かした連携の推進による大学等のキャリア教育の支援

- 上田市の多様な地域資源との関わりの中で行う、地域連携、産学官連携による連携事業や、学生活動を通して社会人として求められる能力や姿勢を身に付けるためのキャリア教育を支援します。

(2)市内企業の魅力の発信

- 学生が希望する働き方を実現できるよう、就職の選択肢を広げるとともに、地域産業を支える人材確保を図ることを目的として、学生に対する市内企業の魅力発信を支援します。

(3)市内就職及び定住の促進

- 学生、若者を対象として、大学等の卒業後などにおいて、上田市を働く場所、住む場所として選ぶことにつながるような取組を推進します。

基本施策5 生涯学習・リカレント教育支援

◆目指すべき姿

各ライフステージにあわせて大学等が学びを得る場となり、生涯にわたり切れ目なく学べる環境が整っている。

施策の方向性

(1)多様な学びの環境づくり

- 小中高大連携や大学間連携を推進し、児童・生徒・学生が大学等の特色ある多様な「知」に触れるとともに、地域を理解し、地域の歴史、文化、自然、人々の結びつきなど、様々な要素に対する誇りや愛着を醸成するための学習環境づくりを進めます。

(2)自己実現のための学びの支援

- 大学等の特色を活かした専門的な学習機会を広く創出することで、社会人の学び直し(リカレント教育)や自己の生涯学習への取組などを促進します。

表紙・裏表紙に込めた思い

上田市塩田平周辺が「信州の学海」と称されていたことから海をイメージし、このビジョンの施策を進めることで上田市が『学びの海』になり、学生と地域の人々の生活がより豊かになるように願いを込めました。



発行：上田市

編集：政策企画部 学園都市推進室

〒386-8601 長野県上田市大手1-11-16

TEL 0268-22-4100(代表)

表紙・裏表紙デザイン：長野大学デザイン同好会コトポート